

今日の新聞一面（南日本新聞）は、「新型コロナ 緊急事態延長へ調整」です。

先が見えない状況の中で、どうしようかと考えていたところ、机の正面にある校訓が書かれた額が見えました。

これまで伊集院高校の多くの先輩方や生徒の皆さんに方向性を示し、励ましてきたのだらうと思いました。

みんなで今できることをやりましょう。



「質問 あります。」

職員室の入り口に表示してあることばです。どんどん質問してください。休業中の課題に取り組む中で、疑問に思うこと、質問したいこと、課題として考えたいことが出てきませんか。実はそれが勉強のねらいです。問題を解くその先にあるものが大事です。

「あらゆるメカニズムが系で循環しているんです。こちらで起こることがあちらに影響し、その反対にあちらがこちらに影響して、全体が系として動いています。

一番重要な仕事は、問題を解くことではなく、問題をつくることなんです。」

（元金融庁長官・森信親）

★情報に注意★

同じく今日の新聞7面（南日本新聞）に、「シャープ、マスク抽選販売 偽の当選メールに注意」という記事がありました。

120倍近くの競争率を勝ち抜いた当選者へのメールに便乗した詐欺メールが出回っているようです。落選者には結果を知らせないシステムのため、そこをつけばだまることができるということです。狙っている人から見れば、隙だらけかなと私でも思います。

セキュリティの強化も必要ですが、私たちも注意する必要があります。これに限らず、どの情報をどのくらい信じていいのか判断する力を高めていく必要があります。

【高校時代に読んだ本から】

陳舜臣・NHK取材班『シルクロード 絲綢之路 第一巻 長安から河西回廊へ』

シルクロードの全容を初めてテレビカメラに収めたという番組をまとめた本。テレビに影響されて買ってしまいました。シルクロードが好きになり、自分の遠い祖先はこの道を通ってどっかから来たかもしれないと思ったりしました。いつかは行ってみたいと思っています。喜多郎作曲のシンセサイザーのテーマ音楽と石坂浩二の“日中共同取材班は”というナレーションが印象的でした。